

# 参加動機が観戦意図へ与える影響についての検討

## —テニスを事例として—

### A study on the Influence of Participant Motivation on Spectating Intention in Tennis

霜島広樹<sup>1)</sup>, 木村和彦<sup>2)</sup>

Hiroki Simozima<sup>1)</sup>, Kazuhiko Kimura<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 早稲田大学・大学院スポーツ科学研究科

<sup>2)</sup> 早稲田大学・スポーツ科学学術院

<sup>1)</sup> Graduate School of Sports Sciences Waseda University

<sup>2)</sup> Waseda University

キーワード: 観戦行動、参加動機、スポーツ参加者、テニス、重回帰分析

Key Words: Spectating Behavior, Participant Motives, Sport Participant, Tennis,  
Multiple Regression Analysis

#### 抄録

本研究の目的は「テニスにおけるスポーツ参加動機とプロテニストーナメントへの観戦行動の関係を明らかにするためのモデルの構築」と、「モデルの検証を行うことで、テニス参加者をテニス観戦者へと導く方法についての示唆を得ること」であった。

テニスの参加者に焦点を当て、質的な手法にて仮説モデルを構築し、統計的な手法で仮説モデルの分析を行った。結果として、参加動機要因の「技術向上」と「自己尊重」が、観戦意図に影響を与えていることが示された。特に、「技術向上」に関しては観戦意図と強い関係性が確認されたことから、技術的に向上したいと思っている人は、プロの試合を見ることで自分の技術向上に生かしたいと考えている可能性が高いことが明らかとなった。わが国における多くのテニス参加者に対し、いかに技術向上に対して強く動機付けさせていくかが、観戦者増加への1つの方策として考えられる。

スポーツ科学研究, 10, 12-25, 2013年, 受付日:2012年6月28日, 受理日:2013年2月2日

連絡先:霜島広樹 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15

e-mail: hirokisimozima@yahoo.co.jp